

習志野市障がい者地域共生協議会 vol.11

なはらしのらたはたらくく ～夢に向かって共に働く願いを込めて～

歌に《想い》を乗せて ～16才のあみさんの挑戦～

障がいの受け入れ、演劇、音楽、歌。そして今。



今の想いを全力で表現するあみさん

「うちの子のどこが悪いんですか！」と聞き返したお母さんでしたが、その後、あみさんを大病院へ連れて行き、我が子の障がいを受け入れ育てる決意をします。また、ちようどその頃、あみさんが《表現》に携わる原点となる運命的な出会いがありました。

《表現》との出会い

それは、お母さんの知人に誘われて出かけたドキュメンタリー映画の上映会でのこと。アフリカの人たちが飢餓に苦しむ様子を映したシーンを見て、あみさんは突如、「可哀そうだー！」と叫びます。そして「私が食べ物を送ってあげたい！」と。その様子を、その場に居た演出家の金田一仁志氏が目にし、氏の主催する市民ミュージカルに誘われたのです。以来、

半年間の稽古を積んでは舞台に立つという経験を三回ほど積むうちに、言葉によるコミュニケーションが苦手だった彼女が、次第に自分を生き活きと《表現》することに目覚めていきました。

「習志野市民」として

あみさんの《表現》への情熱は、お父さんの仕事の関係で、小四で習志野市に越してきてからも、失われませんでした。

引越してすぐ、学校とは別に、市内の放課後等デイサービス事業所に通って、歌や踊りのレッスンを受けるようになります。また、生まれて初めてディズニーシーへ行った際には、初の自作曲「シェリーメイちゃんの歌」を完成させました。小五からは本格的にキーボードを習い始め、現在は、歌とピアノの個人レッスンを受けながら、年に六回ほどステージに立って、たくさんの方の前で自作曲を披露しています。今後の彼女の活躍に、期待です！

習志野市在住の兼田あみさんは、県立八千代特別支援学校の高等部（2年生）に通う女性。普段はシャイで物静かな彼女ですが、実は、学生とは別に『もう一つの顔』を持っています。

それは、大好きな音楽に自分の想いを乗せて歌として表現する、シンガー・ソングライター顔。

今回の「ならたく」は、そんな彼女のストーリーリートを特集します。

「苦手なこと」があつても

あみさんは、北海道札幌市の出身。小学生の時に、「広汎性発達障害」(※)の診断を受けました。きっかけは、小二の12月の個人懇談。担任の先生からお母さんに、「あみちゃんは一生涯懸命やっていますけど、言葉の意味が理解できないみたい」と、特別支援学級への通級を進められたのです。思わず、



音楽があるから、仕事もがんばれる！

「社会人」に向けた準備と職場体験実習を見学して

あみさんは、特別支援学校を卒業したら、働きたいと考えているそうです。高部は、定期的に、茨城県に本部のあるスーパーマーケットチェーン「株式会社カスミ」が運営する店舗で、職場体験実習を重ねています。

昨年10月は「八千代大和田店」で、今年の6月と10月には「フードスクエア東習志野店」の青果部にて、平日の朝8時から午後3時まで、10日間の実習を行いました。

「ならたく」編集部で、10月に取材に訪れた際は、店舗バックヤードの作業室で、他の従業員の方と一緒しよに、入荷したての野菜を一つ一つ丁寧に袋詰めするあみさんの姿がありました。

店長の熊谷さんによると、店舗は昨年10月にオープンしたばかりなので、障がいのある方の雇用は勿論、実習受け入れも初めてのこと。しかし、初めとして「株式会社カスミ」全体として障がい者雇用にも積極的で、店長はじめ職場の理解もあるため、その日も、周りの従業員さんたちが、さりげなくあみさんをサポートする場面が見られました。あみさん自身も、同じ店舗

での2度目の実習なので、仕事の流れも覚えていて、安心して取り組んでいるようでした。

たくさんの方の応援を受けてながら、あみさんが自分の夢の一つ叶えてゆく姿を、これからも応援していきたいと思っただけ取材でした。

※広汎性発達障害とは・・・

先天的な素因と様々な環境要因に起因する何らかの障害が、脳が発達する時期に顕在化した場合に用いられる総称。一般的には、幼児期に、言語能力の遅れやこだわりなど何らかの症状が現れることが多いが、子どもの頃には障害に気づかれず、大人になって分かったり、成人後も気付かずに社会生活を送っている人もいます。自閉症やアスペルガー症候群などを包括する概念として、最近では「自閉症スペクトラム障害」と呼ばれている。



たくさんの応援ありがとうございました！

前号のならたく（VO1.10）で特集して頂いたリオパラリンピック競泳日本代表の田中康大さんですが、100m平泳ぎでは4位入賞と健闘しました！メダルまではあと一歩でしたが、ここ数年では最高のタイムを残すことができました！

応援Tシャツもたくさんの方に購入して頂きました。ありがとうございました！あかね園より。

本人直筆のイラストです→

編集後記▼年末の挨拶。「一年間お互い様でした」と近所への挨拶は大切だ▼あるマンションでの会合の投稿記事。「知らない人に挨拶されたら逃げなさい。と子どもに教えているから挨拶はしないで」と提案した親。老人達も「挨拶をしても返ってこないから挨拶はしない」と意見が一致したとか▼親も親だが、老人達も、浅はかではないか。挨拶は地域の安全のための第一歩だ▼どんどん地域の関係が希薄になっていく。しっかり顔を見て挨拶をしようと思った朝だった（I）

お問い合わせ

習志野市障がい者地域共生協議会
（事務局）習志野市障がい福祉課
習志野市鷺沼1丁目1番1号
（仮庁舎3階）

tel: 047-453-9206
fax: 047-453-9309
ホームページ:<http://www.city.narashino.lg.jp/joho/keikaku/shogai/jiritushiennkyougikai.html>